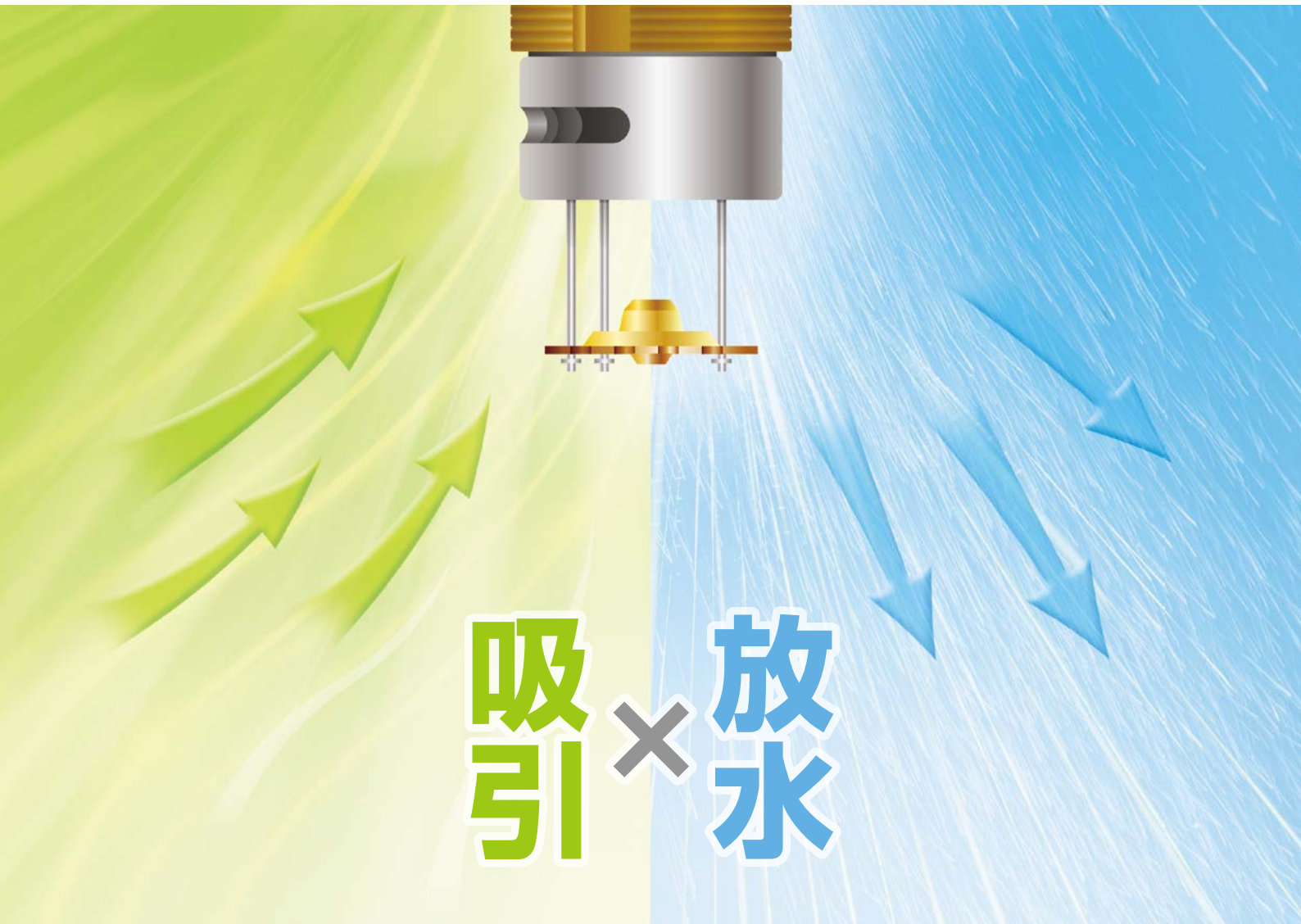
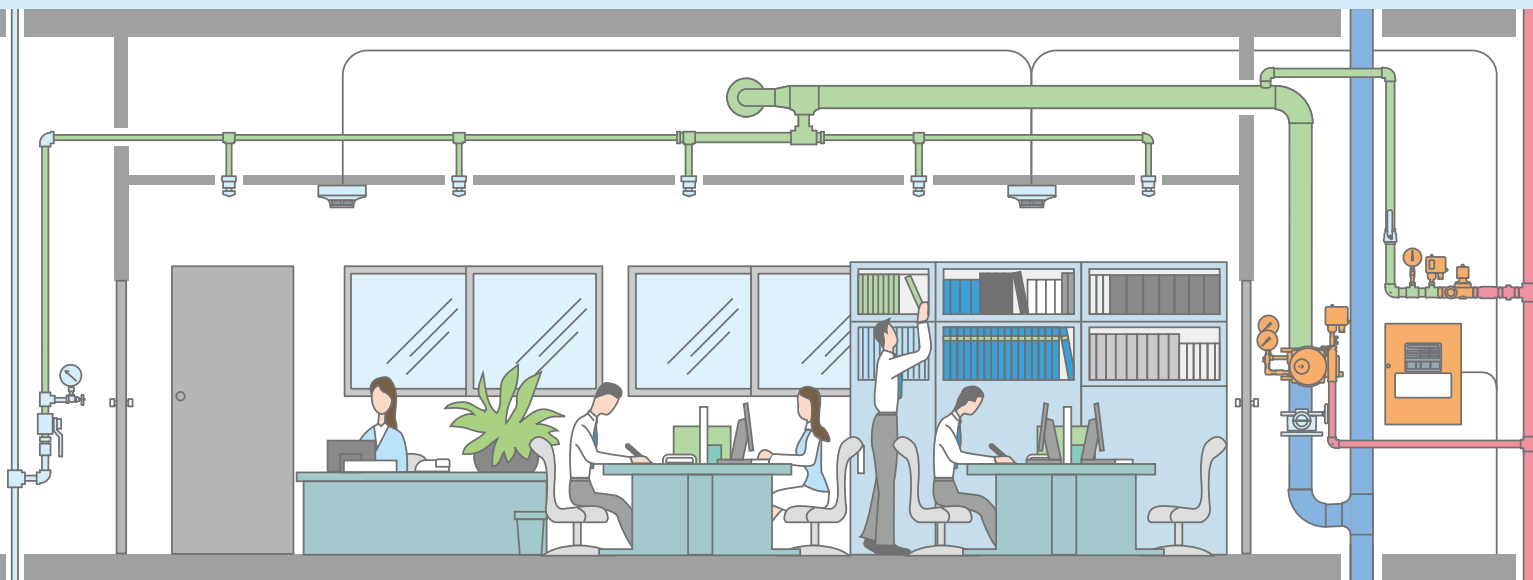


負圧湿式予作動式スプリンクラー設備  
**VSスプリンクラー**

— 水損防止機能と消火性能を両立 —



# ヘッド破損時も火災時も常に安心!!



VSスプリンクラーは、負圧湿式予作動式スプリンクラー設備です。

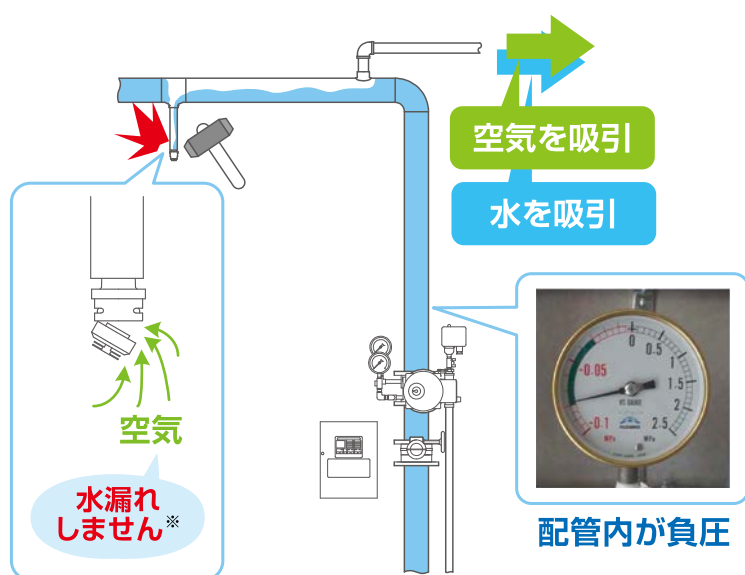
配管内の圧力を的確にコントロールし、高い水損防止機能と消火性能を両立させました。

流水検知装置の二次側配管内を『負圧』に保っているため、

火災時以外でスプリンクラーヘッドや配管等が開放したときは、

空気を強力に吸引して周囲への水損被害を大幅に低減します。

また、火災発生時は感知器の火災信号により、迅速に圧力変化し、消火します。

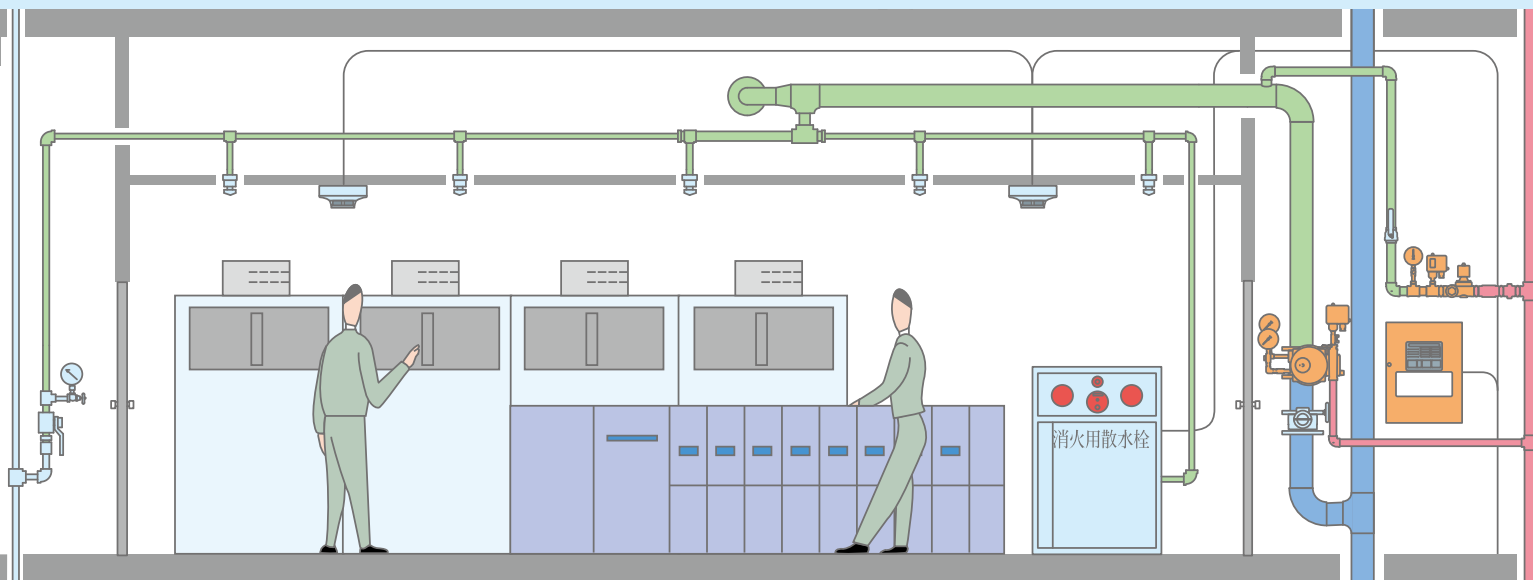


## 『負圧』とは

従来のスプリンクラー設備では大気圧を「0MPa」(ゲージ圧力)としていますが、真空ポンプ等を用いて大気圧以下のマイナスの値となる圧力状態のことを、VSスプリンクラーでは負圧と定義します。

※配管や建物形状により滴下が発生してしまう場合があります。

# デパート・事務所・病院・ホテル等どこでも設置OK!!



## VSスプリンクラーの特長

火災時  
には

迅速で強力な  
消火能力

火災時には負圧から加圧へ圧力変化し、時間遅れなく即時に放水を開始します。閉鎖型スプリンクラー設備と同等の強力な消火能力です。

破損時  
には

水を漏らさず  
強力吸引

ヘッドの破損や配管の腐食時には、水を漏らさず強力に吸引し、管理者に知らせます。

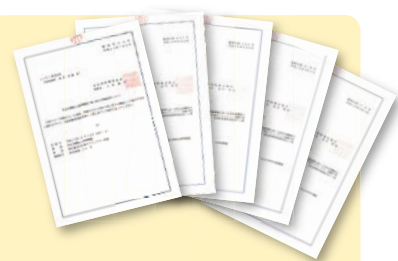
フロアや特定箇所ごとに  
対応可能

流水検知装置ごとにVSスプリンクラー対応区画を設定することができ、一部のフロアや特定箇所だけを重点的に漏水対策することができます。

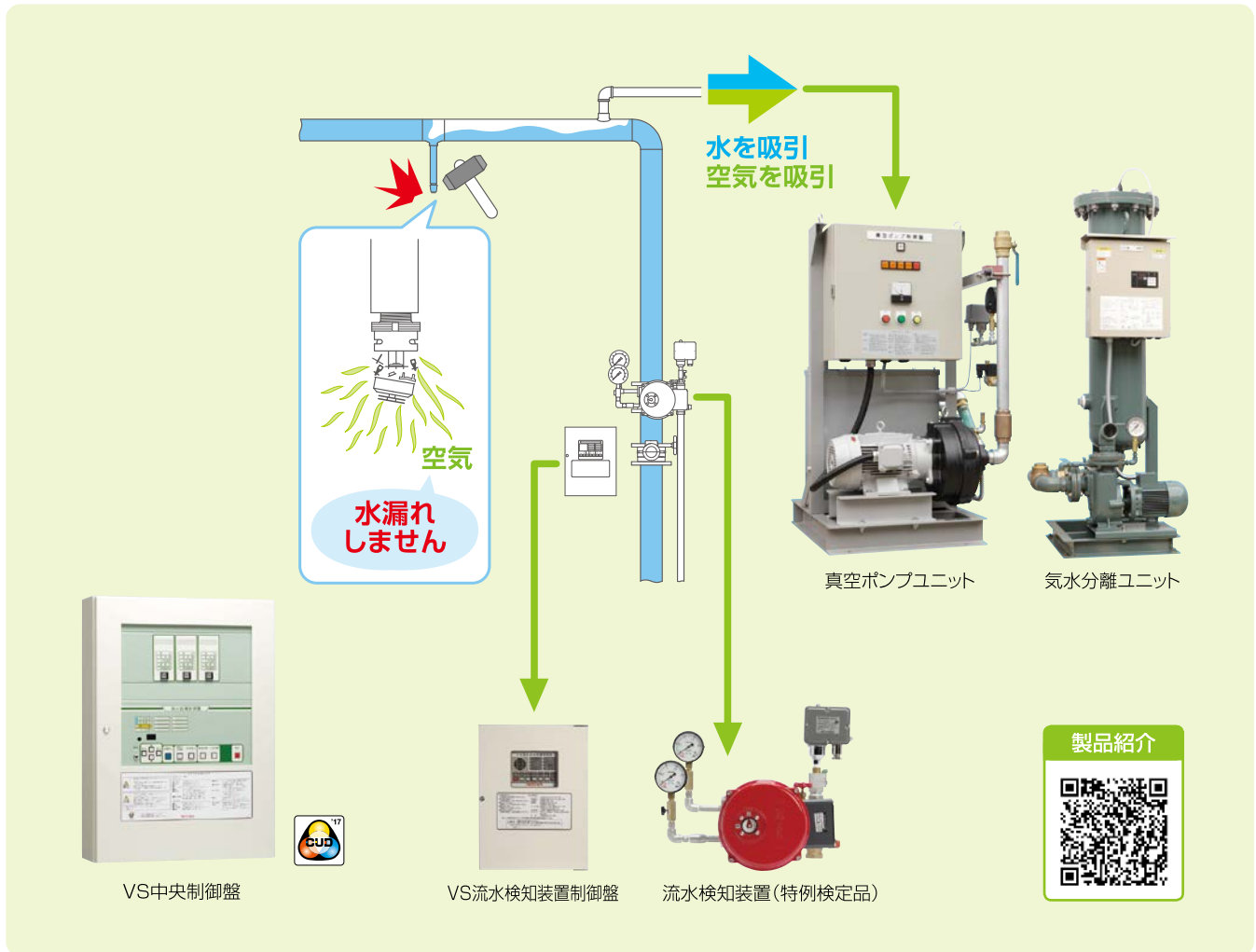
特定機器に  
係る評価を  
取得

(日本消防検定協会)

特定初期拡大抑制機器に係る総合評価、およびVSスプリンクラー制御盤の型式評価の取得により、設置場所の制限がなく、デパートや事務所・病院・ホテルなど、多くの場所に設置が可能です。



# VSスプリンクラーの概要



項目	VSスプリンクラー	従来設備				
	負圧湿式予作動式	負圧湿式予作動式	湿式予作動式	予作動式(乾式)	湿式	乾式
感知器との連動	必要	必要			不要	
流水検知装置の種類	負圧湿式予作動式	負圧湿式予作動式	湿式予作動式	予作動式	湿式	乾式
SPヘッド同時放水個数 消火ポンプ流量・水源水量	100%* (特定機器評価を取得)	150%*	150%*	150%	100%	150%
流水検知装置 二次側配管の最大容積	制限なし	制限なし	制限規定あり*	制限規定あり	制限なし	制限規定あり
ハウジング継手の使用	対応品で可能	対応品で可能	可能	不可	可能	不可
火災発生時に 放水を開始する条件	感知器とSPヘッド 両作動で放水	感知器とSPヘッド両作動で放水			SPヘッド作動で放水	
SPヘッド作動から放水開始まで	直ちに放水	直ちに放水	直ちに放水	1分以内	直ちに放水	1分以内
漏水発生時の水損被害状況	極少	極少	小さい	なし	大きい	大きい
末端試験装置による起動試験の実施	容易	容易	容易	排水等必要	容易	排水等必要
設置場所の制限*	制限なし* (特定機器評価を取得)	コンピュータールーム、電子機器や美術品を大量に 保管する倉庫などの水損の被害の大きい場所に限定 設置として、 <b>ホテル、病院、事務所等への設置不可</b> *			制限なし	凍結のおそれ のある場所のみ

\*管轄消防との打ち合わせや指導により異なります。

**安全にお使いいただくために** ご使用前に取扱説明書をよく  
お読みの上、正しくお使いください。

本資料の内容は製品改良などのために変更することがありますのでご了承ください。  
このカタログの内容は2023年4月現在のものです。

お問い合わせはこちらまで



2023.04.EMA



**ニッタン株式会社**  
〒151-8535 東京都渋谷区笹塚1-54-5  
TEL 03-5333-8601(代表)



<https://www.nittan.com/>